

令和2年2月26日

一般社団法人経営情報学会会員各位

## 2020年以降の全国研究発表大会および年次大会開催時期のお知らせ

会長 妹尾 大

会員各位におかれましては、ますますご活躍のことと拝察いたします。

さて、経営情報学会では、各事業年度における全国研究発表大会を日頃の会員各位の研究発表成果を披露し、研究を発展させる極めて重要な機会として位置づけ、より魅力的な大会を目指し様々な創意工夫を凝らしてきました。昼食時間を情報収集の機会として有効に活用いただくランチョンセミナーや、企業での実践例紹介による企業と学識者との情報交換を意図した企業事例セッション、先端研究トピックや最新手法の学習を目的とする特別セミナーの実施はその一例です。

これらの企画の実施を通じて、大会参加には研究発表にとどまらない多様なニーズが存在することを認識し、より一層研究発表大会をはじめとする各事業が活性化することを主目的として、2020年より全国研究発表大会の開催回数を変更し、年1回以上の開催とすることを決定いたしました（2019年第5回理事会）。

この決定を受け、2020年以降の全国研究発表大会の開催は年1回秋季（10～11月）での開催を原則として、春季には学会賞講演やパネルディスカッション、チュートリアルを中心とする年次大会を開催することといたしました。

以下が2020年の実施予定です。

- 2020年6月13日（土）：2020年度年次大会（学習院大学）
- 2020年10～11月中の土・日2日間：2020年全国研究発表大会（東京工科大学）

この再編を通じて、研究発表大会は発表・議論と交流を主目的とし、年次大会は大会テーマに関する議論と交流を主目的とする再配置を実現します。これと同時に、学生研究論文発表会の再検討や各支部の活動をより一層支援することを通じて、発表機会の確保について検討を進めてまいります。

今回の大会再編は、学会活性化のために「萌芽」というキーワードのもと、理論だけでなく実社会に貢献する新たな研究を生み・育てる具体的活動のひとつです。会員各位におかれましては、上記の趣旨をご理解いただき、2020年以降の全国研究発表大会および年次大会に、従前にもましてご参加いただければ幸いです。

以上